

## 【第8回 MS・NMO 市民公開講演会と相談会】

早春の青空の下、3月9日(土)午後、東京都千代田区神田駿河台(お茶の水)の「ソラシティカンファレンスセンター、ルーム C」にて第8回市民公開講演会と相談会が行われました。司会は昨年同様(株)三栄コーポレーションの池田女史です。優しい声でスタートです。まず認定NPO法人日本多発性硬化症協会の水谷理事長、理事兼医学顧問団代表の糸山国際医療福祉大学名誉教授、全国多発性硬化症友の会の田村事務局代行からご挨拶をいただきました。本年は英国ロンドンに本部を置くMSIF(MS国際連合)よりJoanna Laurson-Doube女史が参加し、恒例のMSIFメッセージをお読みくださいました。その後、平成30年度医学研究助成審査委員長の順天堂大学大学院認知症診断・予防・治療学の田平客員教授より審査に関する説明・挨拶があり、研究助成表彰式に移りました。受賞された国立精神・神経医療研究センター神経研究所神経薬理研究部の村松先生、大阪大学大学院医学系研究科の山下先生、慶應義塾大学医学部の久富木原先生に水谷理事長より賞状と目録が手渡されました。その後、国立病院機構 医王病院の神経内科統括診療部長の高橋先生より『多発性硬化症・視神経脊髄炎で使用している薬について』の基調講演。そして、村松先生の『脱髄を修復させるメカニズムの解明』、山下先生の『多発性硬化症と視神経脊髄炎関連疾患におけるミトコンドリア DNA の炎症促進機序に関する研究』の各受賞者講演が行われました。なお、慶應義塾大学医学部の久富木原先生は来年のご発表になります。次に国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部特任研究部長の山村先生と国立病院機構医王病院の高橋先生による「パネルディスカッション」です。患者様からのご質問にお二人の先生よりご回答をいただく新しい企画です。そして、山本副理事長の閉会の挨拶に続き、患者、ご家族、一般の皆様がご参加の先生を囲み相談会となりました。この市民公開講演会と相談会は多くの方々のご参加をいただき大盛況に終了することができました。後援の全国多発性硬化症友の会、NPO法人MSキャビンの皆様、ご寄附を頂きました各企業様と各製薬会社様の皆様方に厚く御礼を申しあげます。本日ご参加いただきました先生の皆様、患者、ご家族、一般の皆様、ご挨拶をいただきました皆様、ボランティアの皆様厚く御礼申しあげます。アンケートには、「高橋先生の基調講演が大変分かりやすかったです。」「パネルディスカッションは大変勉強になりました。」等。以上の様子を英国MSIFに発信し世界の皆様に共有していただきます。来年(2020年)は3月1日(日)を予定しております。皆様、是非ともお越しくださいようお願い申し上げます。

水谷理事長開会の挨拶



高橋先生基調講演



パネルディスカッション(山村先生)



MSIF Joanna-Laurson



受賞講演の先生と



司会の池田女史



会場様子



認定NPO活動法人日本多発性硬化症協会 事務局